

# 子宮頸がんには、予防する方法があります。

10代からのHPVワクチン接種と、20歳を過ぎたら加えて検診が大切です。

いつかじゃなく、  
「今」だ。



## 当院婦人科にてHPVワクチン接種を実施しています。

当院で実施できるのは太枠の対象の方のみになります。ご予約は外来予約センター、又は検査予約窓口へお問い合わせください。注)当院では男性の方の接種は対象外となります。

対象	費用	備考
小学校6年～ 中学3年生相当 の女性の方	<b>当院対象外</b>	接種をご検討される方はお住いの各市町村のホームページから実施可能施設をご確認ください。
高校1年生相当 の女性の方	公費 ※座間市のみ	公費で接種が可能です。
1997年4月2日～ 2008年4月1日 生まれの女性の方	公費 ※座間市のみ	HPVワクチンのキャッチアップ接種は2025年3月末迄になります。 <b>公費で接種できるのは2025年3月末迄です。</b> 2004年度に高校1年生相当の女子も同様です。 ※2024年9月末迄に1回目の接種を開始した場合、標準的な接種間隔で3回の接種を公費で完了することができます。(標準的な接種感覚の場合、接種完了迄の期間は6ヶ月)
1997年4月1日以前に お生まれの女性の方	自費	当院婦人科にて接種可能です。詳細は窓口にお問い合わせください。

子宮頸がんとは、おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因の疾患です。

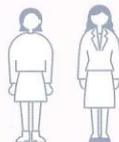
罹患者数：毎年  
約 **10,000** 人



死亡者数：年間  
約 **3,000** 人



**20～30**代でも罹患



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年～2019年)/全国がん死亡データ(1958年～2022年)

\*1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。 \*2: 接種時の年齢や、HPVワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種が必要です。

**10代**  
から

HPVワクチン

2回、または3回接種で完了\*2

**20歳**  
を過ぎたら

定期的な検診

